

令和4年8月市議会定例会が8月30日に開会され、市長と教育長が行政報告を行いました。このページからは、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。



## 市長から

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株のBA・5系統が第7波の流行の主流となり、8月19日には、瀬戸内市においても100人を超える感染者が発生しました。岡山県においては、8月に入り1日に3000人を超える感染者が発生したことなどにより、8月5日から8月31日までを期間として、「BA・5対策強化宣言」を行い、高齢者や基礎疾患のある重症化リスクの高い人などは混雑した場所への外出など感染リスクの高い行動を控えることなどの要請を行いました。

第7波においては、特に若年層に多くの感染者が発生していることから、本市ではまだ3回目接種をしていない若い世代の人に接種してもらえよう引き続きワクチン接種

の効果や安全性について周知を行っていきます。

現在、新型コロナウイルス接種については、3回目接種から5カ月以上経過した60歳以上の、18歳以上の基礎疾患を有する人、医療従事者や高齢者施設関係者を対象として4回目接種を実施しています。

このような中、オミクロン株に対応した新しいワクチンの接種についても、厚生労働省からの通知に基づき準備を進めており、詳細が決まり次第、市民の皆さんにお知らせすることとしています。

### ウクライナ人道支援への寄附金の受付について

武力攻撃により故郷を追われたウクライナの人々への人道的な支援のため、ふるさと納税制度を活用した寄附金の受付を開始します。

寄附により集まったお金は、UNHCR(国連難民高

等弁務官事務所)が取り組むウクライナ避難民をはじめ、世界各地の難民支援に活用します。また、今後、ウクライナから瀬戸内市へ避難する人への支援に充てることも想定しています。

本市では、今年3月の寄附をきっかけとしてUNHCR駐日事務所などとの連携による難民支援関連のイベント開催などの事業も検討しています。今回のふるさと納税による寄附を通じた支援の取り組みとあわせて、市民に限らず、多くの方に難民問題や多文化共生による多様な価値観について理解を深めてもらえる機会になると考えています。

### 国土利用計画の策定

今年度末の策定に向けて作業を進めている国土利用計画については、6月12日にキックオフイベントとして、市民

まちづくりフォーラム「瀬戸内市のランドデザインを考える」を開催し、同時開催した「こどもひろば」を含め、88人の参加となりました。

このイベント当日の様子  
は、ホームページ内のリンクにて録画した動画を配信しています。

また、6月下旬から7月末まで市内13カ所、14回とオンライン1回の計15回、「瀬戸内タウンミーティング」を開催し、延べ約200人の参加者からは、恵まれた豊かな自然を守りつつ、道路交通環境を改善することや遊びに行きたくなるような公園の必要性など、多くの意見が出ました。

これらの貴重な意見は、今後、市のホームページで公表するとともに、国土利用計画の策定に活かしていきます。

### 食のしあわせプロジェクト

本市では、平成26年度から市民団体や小売店、農業関係者の皆さんとの協働により、

学校給食への地場食材の提供による地産地消を推進しており、子どもたちの郷土愛の醸成を図るとともに、本市にとって重要な産業である農業への理解と農家の所得の拡大などさまざまな効果を生んでいるものと考えています。

## 教育長から

今年度4月に実施した全国学力調査について、岡山県全体の結果が7月に公表されました。

瀬戸内市の学力の状況は、小学校6年生では平均正答率

がほぼ全国と同等でしたが、国語と理科に比べると算数には課題が見られます。中学校3年生は3教科とも全国平均を上回りました。同一集団の経年比較で、中学校において学力を大きく伸ばした点を評価しています。

小学校、中学校ともに国語に関して好成績を維持している点については、市内全小中学校に配置している学校図書館司書の読書啓発や授業内容とリンクした意図的掲示、授業での調べ学習への支援などの取り組みとともに、地域の方々による「読み聞かせ」などの効果も大きいと考えており、学校支援ボランティアの方々の温かいご支援に心より感謝しています。

### 学習状況調査について

今年度4月に実施した全国学力調査と同時に公表された児童生徒の日頃の生活の様子や学習の取り組み状況を調査する学習状況調査では、中学校3年生で「主体的な学び」

### 公民館について

公民館では、継続的な感染症予防を行いながら生涯学習の拠点施設として事業を展開しています。3年ぶりとなる

文化祭は、市民の自主的な文化活動の大切な発表の場と捉え、公民館ごとに実施する予定で実行委員会とともに準備を進めています。

また、11月に開催予定の喜之助人形劇フェスタは、市内のアマチュア人形劇団などが中心となって活動してきた人形劇文化継承への支援と、さらなる市民への周知啓発を目的に、プロの人形劇団招へい事業を公民館が担い、実行委員会と協働して準備を進めています。

文化があふれるまちづくり委員会では、7月30日に「親子de文化祭」を開催し延べ1165人の参加がありました。公民館の関係団体の指導者などがワークショップを運営し、親子で体験できる芸術文化活動を提供しました。

また、特別企画として著名なアーティストとの共演で、全国で活躍する瀬戸内市出身のトロンボーン奏者馬場桜佑さんによる躍動感ある演奏をたくさんのお客さんが鑑賞しました。その中で、市長が「せとうちPR大使」を委嘱しました。